

三田市立高平小学校学校だより

風の音

令和5年度 6月号



心をひとつに 高平っ子 運動会！！

5月27日(土)の運動会では、子どもたちの演技や競技にたくさんの拍手ありがとうございました。今年は、新たな取り組みとして、全校生で共有できるもの、みんなで一緒に体験できるものとして全校表現「うらじゃ」を演技種目に取り入れました。高平っ子が一体となって体を動かす楽しさを伝えられたと思います。大きな声援ありがとうございました。また、高学年の児童は、運動会を成功させるために、前日の準備や当日の運営など休む間もなく動き続け、高学年としての自覚とたくましさを感じました。行事を通して、またひとつ子どもたちが、大きく成長したと思います。



6月は、学年行事(田植え、黒豆栽培等)で、地域の方々との協働で様々な活動を進めていきます。こうした体験活動でも、「仲間とともに」に重きを置きながら、教育活動を進めていきたいと考えています。保護者の皆様、子どもたちのがんばりに応援よろしくをお願いします。

「1年生を迎える会」(全校生)

5月9日(火)に児童会で1年生を迎える会を開催しました。今日の会のために、各学年が出し物を考え、プレゼントも制作しました。入場時、みんなの前で名前や質問に答える1年生の子どもたち、緊張気味でしたがとてもいい顔でした。2年生から出し物が始まり、3年生のじゃんけん列車は、いろいろな学年が入り乱れ、会場は大いに盛り上がりました。ラストは6年生のクイズです。6年生のクイズは、校内の遊具の正しい使い方、クイズを通して、安全な学校生活を送れるようにしようと考えられたクイズです。



さすが6年生だと思わせるものでした。たくさんのプレゼントをもらった1年生が、最後にお礼の言葉をいう場面では、しっかりと話を聞いてあげようとする上級生の優しさが伝わってきました。短い時間でしたが、1年生が高平小学校の仲間となったいい交流の場になったと思います。

「さつまいも植え」(幼・1年生)

5月18日(木)に幼稚園さんと一緒にさつまいもを植えてきました。目的の田んぼに着くと、JAの職員さんや地域の方も応援に来られていました。さつまいもの植え方の説明を聞き、一人3本のつるを持って田んぼに入っていました。「サツマイモのつるを寝かせるように土に埋めてください。」と植え方の説明を聞き、各自がつるを持って植えていきました。実際にやってみると黒いビニールで覆われているために、土の様子がわからず戸惑いながらの作業でしたが、どの子どもとも楽しそうでした。今回は植えるだけでしたが、秋の収穫では、大きく育ったさつまいもを土から掘り起こした時の子ども



もたちの反応がとても楽しみです。

6月行事予定

日	曜	学校行事	給食	日	曜	学校行事	給食
1	木	プール掃除 トライやるウィーク	○	16	金	優しさ発見の日	○
2	金	プール掃除(予備) 優しさ発見の日	○	17	土		
3	土			18	日		
4	日			19	月		○
5	月	全校朝会	○	20	火	避難訓練	○
6	火	ネットモラル学習会(全校生)	○	21	水	委員会活動	○
7	水	田植え活動体験(2年) クラブ活動	○	22	木	校外学習「市内めぐり」(3年)	○
8	木	プール開き 交通安全教室(1・4年) 環境体験活動準備(3年)	○	23	金	環境体験学習(3年) 親子読書の日	○
9	金	登校指導 環境体験活動(3年) 優しさ発見の日	○	24	土		
10	土			25	日		
11	日			26	月		○
12	月	児童朝会	○	27	火	眼科健診	○
13	火	学年別人権研修(14:30下校)	○	28	水		○
14	水	オープンスクール クラブ活動	○	29	木	自然学校(5年)①	○
15	木		○	30	金	自然学校(5年)②	○

ありがとうございました。

5月21日(日)には、校内の草刈りやグラウンドの草引きに、たくさんの方々に参加していただき、ありがとうございました。子どもたちは気持ちよく練習をすることができました。



三田市立学校教職員の勤務時間適正化に向けた取り組みについて

☆教職員の定時退勤日・ノー部活デー・夏季学校閉庁日の設定について

○全学校で「定時退勤日」(週1回以上、各学校が設定する曜日において、全教職員が、予め定められた時間に退校)を設定しています。

○全中学校で「三田市中学校部活動ガイドライン」に基づき、「ノー部活デー」(週当たり2日以上)の部活動休養日:平日に1日以上、土・日曜日に1日以上)の完全実施に向けて取り組んでいます。

○夏季休業中に学校閉庁日(8月13日~15日)を設定し、休暇の取得を推進しています。

☆学校行事等の見直しについて

○新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校行事等は大きな制限を受けることになりましたが、これまで「当たり前」として行われてきた従来の形に対して、教育効果を再検討し、見直していく機会にもなりました。この経験を活かし、今後も前例踏襲にとらわれず、よりよい学校行事等の実現に向けて取り組んでいきます。